

館長コラム(12) モンキチョウとキタキチョウ

白い蝶の話(モンシロチョウとスジグロシロチョウ)は8月号に書きました。今回は黄色い蝶の話で、モンキチョウ(モンキ)(図1,2)とキタキチョウ(キタキ)(図3,4)です。今年の春は暖かいので2種とも3月上旬から飛び始めています。「菜の花のまわりで黄色い蝶が飛んでいる」となるとこの2種のどちらかです。両種の違いは後翅裏面に白い斑紋1つある(モンキ)かない(キタキ)かですが、飛んでいるときの区別は慣れないと難しいです。(写真は今年3月に撮影)

【モンキ】*Colias erate* ヨーロッパからアジア、アフリカに分布しており、日本でも北海道から沖縄までふつうにいます。幼虫はシロツメクサなどのマメ科植物を食べ、幼虫で越冬し春に蛹となり羽化します。成虫が3月から11月末まで見られる美しい蝶です。キタキよりも速く飛び回る印象です。雌は雄に比べ白っぽいのでわりあい容易に区別できます。

【キタキ】*Eurema mandarina* インドから東アジアに分布し、日本では東北から沖縄まで分布しています。沖縄にはミナミキチョウという別種がいることが発見されました。八重山にはタイワンキチョウもいます。これら3種は区別が難しいです。キタキは成虫で越冬します。雌は越冬する前に交尾するタイプと越冬後交尾するタイプがあり、越冬前に交尾すると越冬中の生存率が上がるという話があります。これは交尾によって雄から得た精包が越冬のための栄養源になっているからではないかと考えられています。



図1 モンキ 翅裏面



図3 キタキ 翅裏面



図2 モンキ 翅表面



図4 キタキ 翅表面

【田辺市のホームページ(生涯学習課公民館係)では公民館だよりをカラーで閲覧することが可能です】

長野公民館だより

館長 米本 憲市 主事 山本 遥

事務所：田辺市中三栖805番地 三栖コミュニティセンター内
TEL：(0739) 34-0022
FAX：(0739) 33-0836



主な掲載内容

主な掲載内容	ページ
・新年度のごあいさつ 米本憲市公民館長	1
・共に手を携えて 学社融合推進協議会	2
・退任のごあいさつ 公民館主事	2
・おこと(箏)教室 In 長野小学校	3
・世界遺産熊野古道 楡木周辺の美化活動	3
・館長コラム(12) モンキチョウとキタキチョウ	4

移動図書4月の予定

- ①4月11日(火)
AM9:45 ~ 10:25
長野小学校
- ②4月20日(木)
AM9:30 ~ 10:10
長野東原

長野館区人口統計 (2月末現在)

人口	619 人
前月比	-2 人
世帯数	322 世帯
前月比	-2 世帯

【田辺市のホームページ(生涯学習課公民館係)では公民館だよりをカラーで閲覧することが可能です】

令和5年度を迎えて 長野公民館長 米本 憲市 「各種行事の再開に期待!ご支援ご協力を!」

この原稿を書いている今はスモモやアケビの花が咲いていますが、この公民館便りが届く頃はどんな花が咲いているのでしょうか。



さて、私の長野公民館長としての1年が過ぎました。Covid-19の影響でお盆のソフトや囲碁ボール、秋の長野作品展などの多くの公民館行事が中止となり残念な1年間でしたが、長野小学校学社融合推進協議会を通じた小学校関係の行事を中心に実施することができました。地域の内外の方々を講師として招き子供たち向けに、ブルーベリージャム作り、ホテル学習、読み聞かせ、昔の遊び、琴教室などを実施しました。

大人向けには、地区内ハイキングとして高尾山登山、人権学習の一環としてSDGsのゲーム形式の勉強会も楽しく行うことができました。

また、長野小学校の校内整備作業として、多くの方々のご協力のもとに夏の草刈り(写真左下)、冬の樹木の剪定を行うことができました。御礼を申し上げます。

新年度はCovid-19との共存の方向ですので、お盆の体育行事、長野作品展なども実施したいと考えています。公民館運営委員や体育委員、文化委員の皆様と相談しながら進めていくことになるでしょう。皆様のご協力をお願いいたします。実施となれば町内会の皆様もふるってご参加ください。

公民館活動は町内会役員の方々、学校関係者の方々、そして何よりも町民の方々の支えと参加によって成り立ちます。公民館活動へのご支援をよろしく願い申し上げてご挨拶と致します。



地域と学校 共に手を携えて 【学社融合推進協議会】

長野公民館区の令和4年度第3回学社融合推進協議会が2月28日、長野小学校で開催され、町内会、育友会、保護者OB、長野公民館などの関係団体の長らで構成する委員が集まりました。

学校評価アンケートに関する意見交換では、5年間同じような評価になっていることや、厳しい指導を望んでいる保護者の思い、狭いコミュニティの中での指導の難しさ、保護者と地域の連携、校舎や教室の管理等について話し合いが行われました。



【学社融合推進協議会の様子。長野小校長室で】

また、校区内整備の作業日程変更や、学社融合の具体的な取り組み方針など、来年度に向けた学社融合の方向性なども協議が行われました。

このほか、構成団体の役員改選等に伴う同協議会新体制の確認なども行われました。

田辺市教育委員会では平成30年度から、それまでの学社融合の取組を発展させる形で「田辺市学社融合推進協議会」を設置し、地域の特色を生かしながら、学校、家庭、地域が一体となり、地域と共にある学校と学校を核とした地域づくりに向けた活動の展開を図ってきました。

今後もそれぞれの協議会で課題解決に向けて熟議を重ね、さらなる進化と発展に向けて持続可能な取組を推進していかねばなりません。長野地域においても今後さらに学社融合事業が推進され、学校、家庭、地域のそれぞれが、手を携えながら共に発展していくことに期待したいものです。

)^o^(退任のごあいさつ (´ω`*)

3月31日をもって田辺市役所を退職いたしました。

ちょうど1年前、人生初めての定年退職を体験し、その後、田辺市の再任用職員として長野公民館（三栖公民館兼務）の主事として配属されました。当初は、地域の皆さんの名前と顔が一致せず、土地も業務も地域文化も全く分からず、さらにはコロナ禍という非日常の対応が求められる中、何かと不安な日々を送っていましたが、公民館や小学校、それに町内会等の関係団体や地域の皆さんに温かく接していただいたおかげで、本当多くの事を体験し、楽しく当地域のことを学ぶことができました。

1年間という短い期間で、また至らぬ点も多々ありご迷惑をおかけしましたが、温かくて優しい地域性をあらためて肌で感じる事ができたことに感謝しつつ、これからは、公民館での素晴らしい経験と皆さんとの交流を忘れず、私自身の暮らしの中で生かしていければと思っています。

また趣味の写真撮影では、時間や天候を問わずカメラを持った怪しい老人が出没することもあるかと思いますので、お見かけしましたら不審者とは思わず、どうかお気軽にお声がけください。

最後になりましたが、当地域と皆様のご活躍と発展を祈念し、退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

令和5年3月31日 浦野 泰之

♪♪♪ おこと（箏）教室 in 長野小学校 ♪♪♪

学社融合推進事業にいろいろと積極的に取り組んでいる長野小学校（山田隆司校長）では2月22日、生田流箏曲菊宮会の真砂良子



代表を招き、全校児童（13名）を対象に、1・2年生と3・4・5年生に分かれておこと教室を開催しました。

どの児童も初めてのおこと教室に興味津々。最初は、クイズで楽しくお箏のつくりなどについて学び、次に「もののけ姫」や「君をのせて」などの生演奏を聴きました。また最後には、用意していただいた1人1面のお箏で演奏に挑戦しました。短時間にもかかわらず、「あした天気になあれ」などの曲をみんなで合わせ、上手に演奏することができました。

「箏の音色はとてもきれいだった」「もっとお箏を弾けるようになりたい」など、お箏の魅力に引き込まれ貴重な体験となったようです。

写真は、おこと教室の様子。田辺市立長野小学校で。（写真提供：長野小学校）

世界遺産熊野古道～捻木周辺を整備

町内会・公民館有志らで除草作業



長野地域では、町内会を中心とした地域の美化活動が多く、熊野古道長尾坂や閉校している長野中学校跡など、年に数回の整備を実施しています。

今回紹介するのは、世界文化遺産「熊野古道」の中でも清姫伝説で有名なスポット「捻木」周辺の除草を中心とした美化活動の様子です。

といっても有志らは2月12日、午前8時に長野小学校に集合し、まずは学校の近くを流れる左会津川の掃に着手。終了後すぐに全員が熊野古道に移動し、捻木周辺の熊野古道の整備を行いました。

参加者それぞれが草刈機などの道具類を持ち寄り、整備予定区域内に効率よく分散。草刈り機のエンジン音が古道沿線に響き渡れば、作業はあっという間に終わってしまいます。こういった町内会や公民館の取組みによって、地域の大切な資源が維持保全されているのだと感じました。住民の繋がりと愛郷心、そしてコミュニティのおかげです。

写真は、捻木周辺での美化活動の様子。（撮影：米本憲市公民館長）